

久美浜学園保幼小中一貫教育だより

くみはまこういゅうかぶと山



久美浜学園保幼小中一貫教育

久美浜学園ホームページ：各校園所の様子を掲載、週4回更新を目指します。
「久美浜学園保幼小中一貫教育」で検索、スマホでも閲覧可能

久美浜学園事務局R4.3.23.No.12
(☎82-0079(久美浜中内))

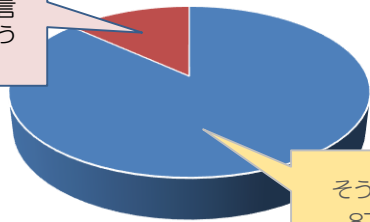
久美浜学園学校運営協議会

第3回学校運営協議会は、まん延防止措置のため集まっていたことができず、残念ながら紙面協議となりました。委員の方21名にアンケートと意見を書いていただきました。

学園の取組について

保幼小中一貫教育で、目標など統一し、一貫した教育をすることはよいことだ

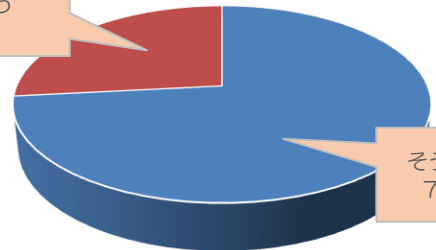
どちらかと言えばそう思う
13%



そう思う
87%

リーフレットにある4つの取組の柱はよいと思う(子どもに力がつく)

どちらかと言えば
そう思う
27%



そう思う
73%

・黒板をノートにきれいに書き写し、教科書や教材を丸暗記して頑張って知識を詰め込んで、テストで高い点数をとれば将来は社会に貢献できるというような環境で育ってきた世代には、コロナ禍でのICT教育の効果に期待していきたいと思います。しかし、コミュニケーション不足や、更なる学習における格差が広がらないかとの不安もあります。課外活動を取り入れながら、子どもたちの健全な成長に繋がるようにお願いします。

・保幼小中の一貫教育は、子どもたちに継続的に、垣根を取り、生活や学習を学ぶ機会を作ったと思います。
・通学路に見守り隊の方や地域の方たちが立ってくださっていると活気があります。一斉あいさつ運動に合わせて地域の方たちが参加してくださると、より一層にぎやかになります。朝はなかなか元気の出ない子どもたちですが、地域の方に負けないくらいの挨拶ができるように、周りの大人達が子ども達に挨拶をして、挨拶をする機会をたくさん作って習慣づけることが大切だと思います。

・保幼小中一貫教育が始まり、5年間で一つにまとまってきたように思う。それまでは、学校連携は形ばかりで、お互いを知らずとする機会が少なかったように思う。乳幼児期が人格の根っこを育てるということを改めて認識して頂き、細やかな指導や配慮のおかげで小1プロブレムが少なくなってきたと感じていた。

・地域の協力と子ども達が地域に入ってくれることが地域を活気づけることに繋がると思います。これからもどんどん地域の中に入って活動して欲しいと思います。

各団体の子どもに関わる取組について

・地域の中で子どもたちの声がすると安心します。見守り活動などを通して、今後子どもたちと関わっていきたいと思います。できることを、学校、こども園と連携しながら取り組みたいと思っています。

・コロナ禍で活動休止されている団体が多いと思います。久美浜の自然や歴史を学びながら、学べる活動が再開できることを願っています。(地域の)「学習会」が増えればと思います。学力の向上、安定も大切ですが、授業に取り残されることがないようにフォローができる場所があれば良いと思います。

年3回の協議会では、たくさんの意見をいただきました。園所学校、学園の取組改善につなげていきたいと思っています。

また、園所学校は、「社会に開かれた教育課程」づくりとして、地域とつながり、地域に溶け込み、保育・教育活動を展開していかなくてはなりません。今後とも、地域・団体の皆様には、久美浜学園の強力な応援団としてよろしくお願ひいたします。

その他

・安心安全部会で、「歩道やグリーンラインの整備の要望は区長を通して出し続けなければいけない」というお話を聞き、通学路の危険箇所について地区に相談をしました。秋に「通学路注意」と路面標示が入りました。通学路で不安があれば、地区や学校に相談するということを知りました。有識者のお話を聞かせていただくことは大切だと思いました。

・様々な家庭環境にある子どもたちが孤立することのないよう、学校や地域で連携して活動することは素晴らしいことだと思います。学力があっても他者と関わらなければ大人になっても生きづらいでしょうし、多くの大人が関わって楽しい経験を子ども時代に得られれば、夢や目標を持って成長してくれると思います。これからも久美浜学園の取組を継続していただきたいと思っています。



よい卒業証書授与式でした。密にならないよう体育館を広く使い、在校生は、ランチルームでリモートで参加しました。「コロナ禍でも消極的な生活をするつもりはありません」と宣言した3年生、知恵を出し、工夫し、その通りの1年を過ごした生徒たちでした。その集大成として、一人一人がきりっとし、すばらしい式を創り上げました。マスクをしながら歌も聞かせてくれました。式に参加できない友達には、リモートで家と学校をつなぎ、式後のホームルームで証書を届ける様子を共有し、仲間を大切にする姿に涙する保護者もありました。

各園所のお別れ会・小学校の送る会

3月末、小学校は卒業証書授与式、園所は卒園式や退所式があります。在校生が企画したお別れ会や送る会が、それぞれの方法で行われました。お世話になった5歳児や6年生に感謝の言葉を伝えたり、楽しいひと時を過ごしたりしました。密にならない方法を工夫し実施されました。

久美浜小



1学年ずつ音楽室に来て、お別れの言葉やプレゼントを渡す。

高龍小



5年6年のみ体育館で送る会。他の学年は感謝の動画を作り見てもらう。

かぶと山こども園



3.4歳は歌や踊りとプレゼントを渡す。5歳は絵を描いたドラムを送る。

久美浜保育所



一緒にダンスをしたり、コマ回しをしたりして楽しんだ。

かぶと山小



4つのチームに分かれ、体育館と教室で開催。感謝の動画やプレゼントを贈る。

こうりゅう虹保育園



1～4歳の発表を見学し、廊下で5歳が竹馬や縄跳びを披露した。